

カーネーションの有望系統「2001MFB3」の選定

○ 樋山妙子・諸岡淳司（長崎県総合農林試験場）

Selection of carnation '2001MFB3'

Hazeyama, T. and J. Morooka

長崎県のカーネーション生産における栽培品種は、民間種苗会社で育成され、全国的にも生産されているものがほとんどである。国内の産地間競争、急増する海外からの輸入に対抗するためにも、他県に栽培のない、優れた特性をもつ本県独自品種の育成が望まれている。そこで、カーネーションのオリジナル品種育成に取り組み、有望系統「2001MFB3」を選抜したので、その選抜経過と特性について報告する。

【選抜経過】「2001MFB3」は、企業との共同研究により、2004年にスペインで育成中の系統から選抜したもので、2004年、2005年に長崎県総合農林試験場にて特性検定試験を実施し、2006年に現地適応性試験を実施した。

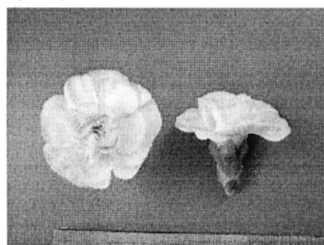
【特性の概要】「2001MFB3」は、スプレータイプで花は丸弁、黄白の地色に淡紫ピンクの縁の花色である（第1図）。12月までは、「ビダル」より切り花本数は少ないが、茎が硬く、花蕾数が多い（第1表）。1月以降、5月の切り花終了まで、茎が硬く、切り花長、切り花重も十分で、花蕾数も多く、切り花品質が高い（第1表）。年間をとおした平均切り花品質についても、11月の切り花長が若干短くなるが、収穫初期から茎が硬く高品質で安定している（第1表）。切り花本数は、3月に多くなり、年間合計採花本数も「ビダル」より多い（第1表）。

花持ち日数は主要2品種よりすぐれる（第2表）。花弁数は、主要2品種より多く、花にボリュームがあり、開花終わりに露芯しない（第2表、第1図）。

これらのことより「2001MFB3」は、本県栽培において、花色が美しく形質の優れる、有望な系統である。

第1表. 「2001MFB3」の月別切り花品質

系統・品種名	採花時期	採花開始日	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	花蕾数 (輪)	下垂度	1株当たりの採花本数 (本)
2001MFB3	11月	11/9	52.0	30.0	6.0	1.0	0.4
	12月		62.3	34.7	5.3	1.1	0.9
	1月		74.0	41.7	5.3	1.0	1.1
	2月		80.5	51.5	5.8	1.0	1.2
	3月		70.8	44.8	5.3	1.0	2.1
	4月		73.2	63.4	6.6	1.0	1.6
	5月		88.7	69.7	6.3	1.0	1.0
	平均		73.6	50.4	5.8	1.0	
	合計採花本数						8.3
ビダル	10月	10/19	56.0	22.0	4.3	6.7	0.3
	11月		59.8	26.2	4.4	4.2	1.3
	12月		64.7	33.9	4.7	2.9	0.8
	1月		72.3	44.6	5.0	1.3	1.2
	2月		76.2	53.6	5.2	1.2	1.0
	3月		79.0	71.3	5.7	1.0	0.3
	4月		82.6	95.4	6.7	1.0	2.0
	平均		71.6	55.5	5.5	2.4	
	合計採花本数						7.7



第1図. 「2001MFB3」の花形

第2表. 「2001MFB3」と主要品種の花弁数と花持ち日数

品種・系統名	花弁数 (枚)	花持ち日数 (日)
2001MFB3	46.0	18.0
ライトピンクバーバラ	32.5	6.1
ビダル	45.1	7.1